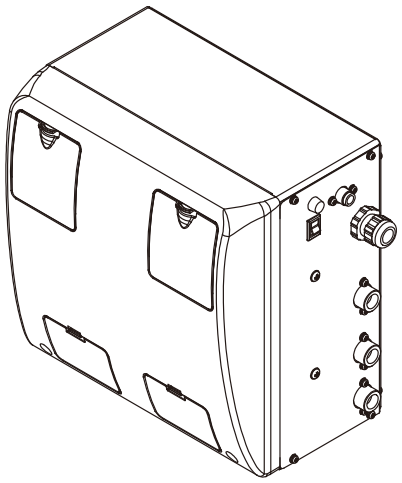
ITOMIC
お湯のトータルプランナー

工事要領・取扱説明書

製品名：小型電気温水器

型　式：ES-3W,3WT



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、
弊社は一切責任を負いません。）

株式会社日本イトミック
〒 130-0002　東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL:03(3621)2121（大代表）　FAX:03(3621)2130
フロント課（修理依頼承り先）
TEL:03(3621)2161（代表）　FAX:03(3621)2163

もくじ

共通項目 ……2

安全上のご注意……3

ES-3Wについて ……5
ラインナップ ……5
各部名称および寸法図 ……5
共通仕様 ……6

工事要領 ……8

施工前にご確認ください……9
1.部品の確認 ……9
2.設置場所の確認 ……10

施工する……11
1.設置工事 ……11
2.配管工事 ……13
3.電気工事 ……14
4.施工後の確認 ……14

試運転を行う……15
1.温水器に給水する ……15
2.試運転を行う ……16
3.逃し弁の動作確認 ……17
5.施工後の確認 ……19

取扱説明 …… 20

使用方法……21
1.使用前の準備と確認 ……22
2.運転する ……22
3.出湯する ……24
4.出水する ……24

長期間使用しないときは(排水の方法)……25
排水の準備 ……25
排水を行う ……26

お手入れの方法……27
保守点検項目と実施の目安 ……27
逃し弁の動作確認 ……28
温水器のお手入れ ……30

こんなときは……31
ストレーナーの清掃 ……33
管理技術者の方のみ リセットの方法 ……35

アフターサービス……36
消耗品の定期交換について ……36
補修用性能部品について ……36
修理をご依頼の際には ……36

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくためにお守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左図の場合は『高温注意』という意味です。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

⚠警告	
	必ずアース（D 種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
	屋外に設置しないでください。 感電や故障の原因となります。
	設置時およびリセット操作時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。
	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

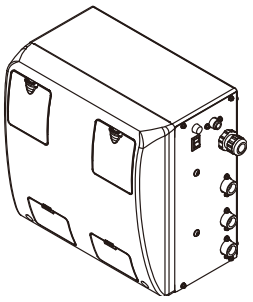
⚠注意	
⃠	**前面カバーおよび蓋は ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。** 破損の原因となります。
	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
❗	**温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。** 落下の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	配管接続前に、ゴミが排出されなくなるまで止水栓から水を捨ててください。 故障や漏水の原因となります。
	逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。 膨張水が逆流するおそれがあります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、漏水や事故の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 タンクや配管が破裂してやけどをするおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

ES-3Wについて

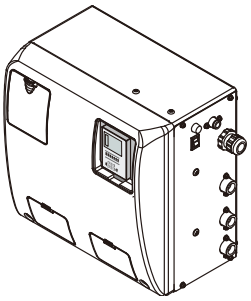
本機は約 80℃に沸かし上げたお湯を水と混合して約 40℃の安全な温度で出湯する超小型の壁掛型電気温水器です。

ラインナップ

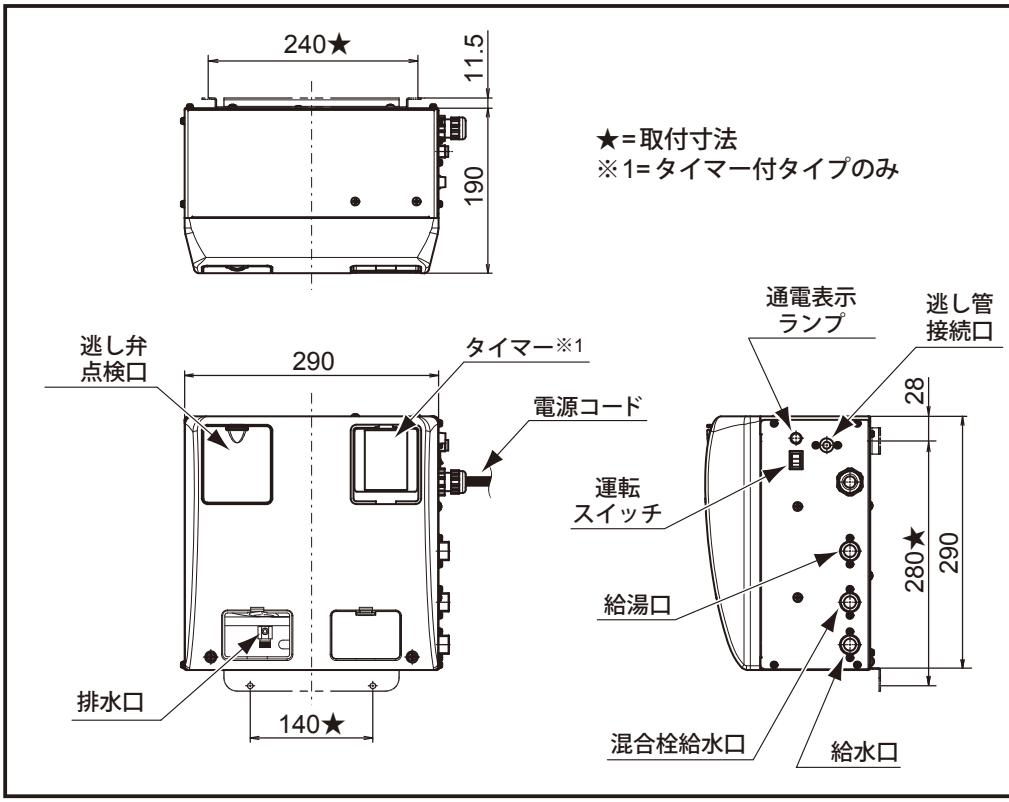
ES-3W
シンプルな標準タイプ。



ES-3WT
便利なデジタルタイマーがついたタイプ。



各部名称および寸法図



共通仕様

型番		標準タイプ：ES-3W タイマー付：ES-3WT	
設置方式		屋内／壁掛	
給水方式		先止め式	
減圧弁		80kPa	
逃し弁		97kPa	
貯湯量		3リットル	
電気関係	電源	単相 100V	単相 200V
	電源プラグ	125V 15A	250V 20A
	適用コンセント （パナソニック品番）	WK3001W、WF3002EK	WF2520B/W、WK2520B/W
	定格消費電力	501W、600W、800W	
	電源コード長	0.8m	
外形寸法（mm）		幅 290 ×奥行 190 ×高さ290	
満水質量		約 9.5kg	
使用水圧		0.1 ～ 0.5MPa	
一次側使用水温		40℃以下（凍結しないこと）	
使用雰囲気温度		0 ～ 40℃（凍結しないこと）	
沸き上がり温度		約 80℃	
沸き上がり時間 （水温 15℃）	501W	28分	
	600W	23分	
	800W	18分	
出湯温度		約 40℃	
配管口	給水口	G1/2（オネジ）	
	出湯口	G1/2（オネジ）	
	混合栓給水口	G1/2（オネジ）	
	逃し管接続口	φ8	
排水栓口		適合ホース内径 7mm	
温度調節器		自動復帰式バイメタル	
ヒーター		シーズヒーター（SUS316L）	
タンク材質		高耐食ステンレス	
タイマー機能 （タイマー付のみ）		ウィークリータイマー（おすすめプログラム設定済み）	
安全装置		空焚き検出、過昇温検出（手動復帰式バイメタル：約 90℃）	

MEMO

工事要領

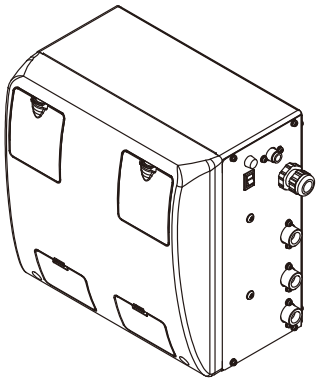
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

ES-3W本体



各型番の違いはP.5参照→

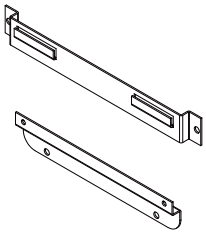
付属品（型番により異なるもの）

タイマー付タイプ

ES-3WTのみ

デジタルタイマー取扱説明書× 1
（工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）

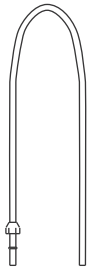
付属品（全型番共通）



（上）

（下）

取付金具（2個）



φ８逃し管
（標準 0.7m）

工事要領・取扱説明書× 1
（この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品（→ P.13『標準配管図』参照）

①漏電ブレーカ ・・・ 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。（30mA、0.1秒）
②カールプラグ ・・・ 温水器を取り付ける際に必要です。（4本）
③木ネジ ・・・・・・・ 温水器を取り付ける際に必要です。（4本）
④ステンレスフレキ管・ 配管を取り外せるように施工するために必要です。
⑤止水栓 ・・・・・・・ 排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
⑥混合水栓 ・・・・・・ 温水器には出湯温度を調節する機能がないため必要です。

関連商品（→ P.13『標準配管図』参照）

ブローキャッチャー・・ 簡単な工事で設置可能な膨張水排出装置です。

2. 設置場所の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
凍結対策	冬季にも凍結しない場所ですか？ 冬季に凍結する場所の場合、保温工事が必要になります。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことができません。	☐
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量約 9.5kgに耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
コンセントの有無	電源コード（0.8m）が届く範囲にコンセントはありますか？ 無い場合は取り付けや増設が必要です。	☐
給湯配管距離	水栓までの距離が2m以内に収まる場所ですか？ 放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえてください。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1 ～ 0.5MPaの範囲内ですか？ 温水器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐
電圧	定格電圧の± 10％ 以内ですか？ 火災の原因となりますので、必ず上記範囲内の電圧であることを確認してください。	☐

ES-3W型の離隔距離

この温水器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

※**必ずメンテナンススペースを確保してください。メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことが出来ません。**

消防法 基準適合 組込形	
場所	離隔距離（cm）
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

施工する

1. 設置工事

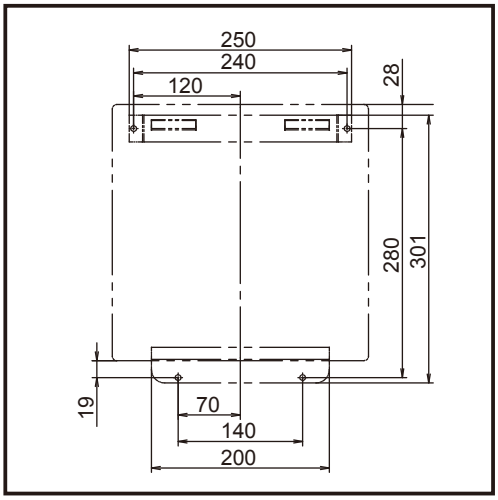
⚠警告	
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	設置時およびリセット操作時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。

⚠注意	
	前面カバーおよび蓋は ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。
	温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 落下の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

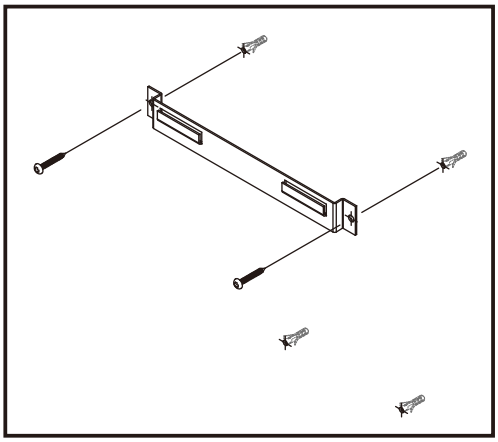
電気温水器の設置

①温水器を取り付ける位置を決定し、取付木ネジ位置に印をつけます。

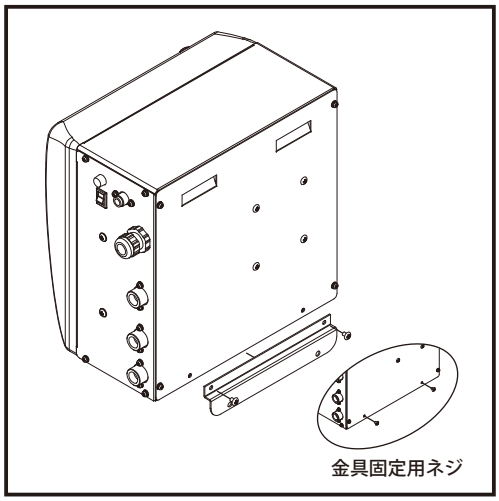
②印をつけた位置 4 ケ所に下穴を開け、カールプラグ（お客様手配品）を打ち込みます。



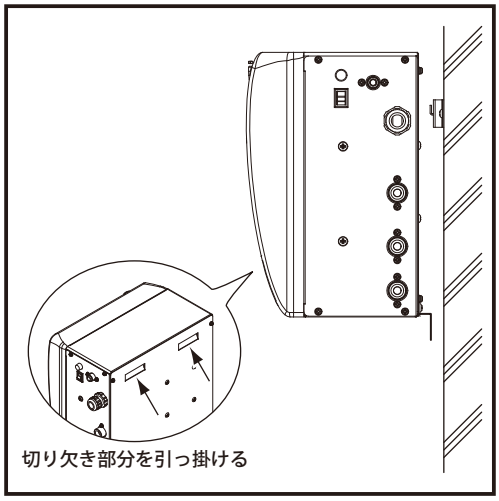
③上側 2 ケ所に打ち込んだカールプラグ等に木ネジ（お客様手配品）で取付金具（上）を取り付けます。



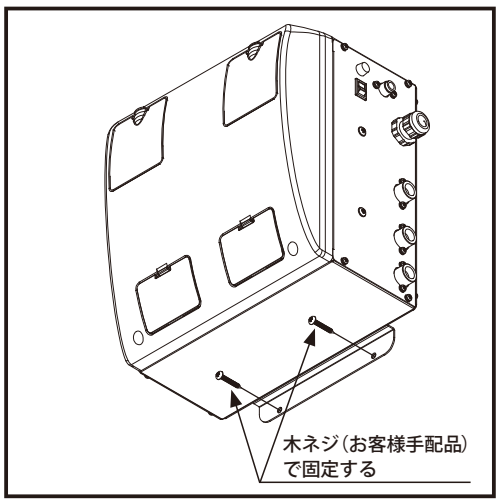
④温水器背面下部２ケ所のネジを取り外し、そのネジを用いて取付金具(下)を温水器に取り付けます。(取り外したネジは紛失しないようにご注意ください。)



⑤温水器背面の切り欠き部を③で取り付けた取付金具(上)に差し込み、温水器を引っ掛けます。



⑥取付金具(下)を木ネジ(お客様手配品)で固定します。



2. 配管工事

⚠注意	
❗	**給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。** 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	配管接続前に、ゴミが排出されなくなるまで止水栓から水を捨ててください。 故障や漏水の原因となります。
	逃し管は必ず下り勾配で取り付けてください。 膨張水が逆流するおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 タンクや配管が破損してやけどをするおそれがあります。

①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。

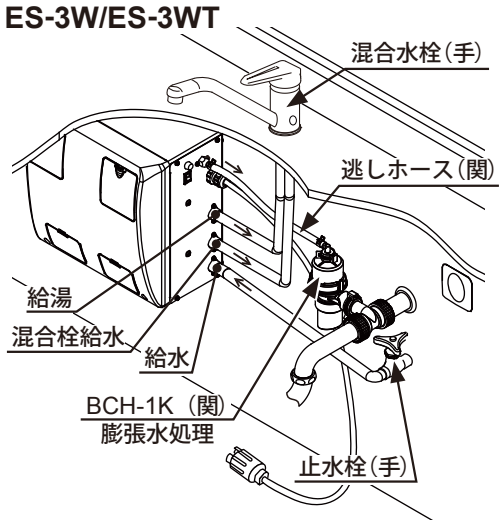
②各配管接続口についているキャップを取り外して配管を行ってください。

ワンポイント P

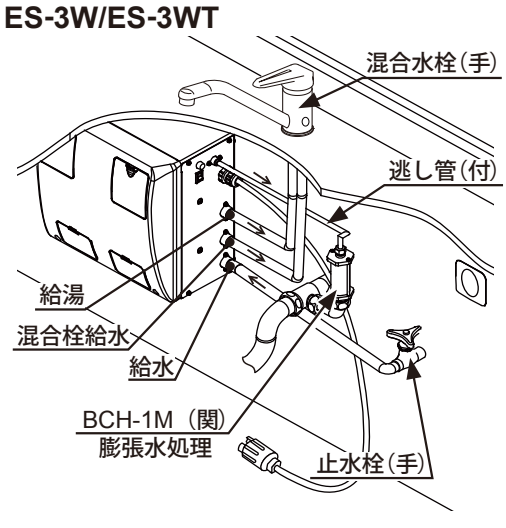
- 膨張水の処理は当社の膨張水排出装置ブローキャッチャーもしくは間接排水にて行ってください。
- 放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえ、保温工事を行ってください。
- ステンレスフレキ管（お客様手配品）を使用して、メンテナンスや修理の際に温水器を取り外せるようにしてください。

標準配管図：（付）＝付属品、（手）＝お客様手配品、（関）＝関連商品

【膨張水処理をBCH-Kで行う場合】



【膨張水処理をBCH-Mで行う場合】



※ブローキャッチャーの施工詳細は、ブローキャッチャー付属の工事要領、取扱説明書をご参照ください。

3. 電気工事

⚠警告	
	必ずアース（D 種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
	設置時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	前面カバーおよび蓋は ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。

4. 施工後の確認

チェックリスト

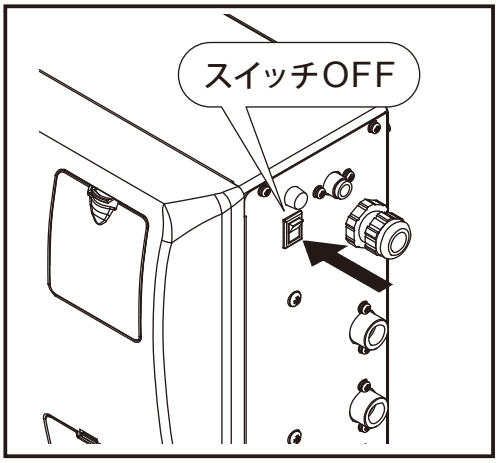
項　目	チェック内容	チェック
設置工事	温水器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
	給水管や給湯管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

試運転を行う

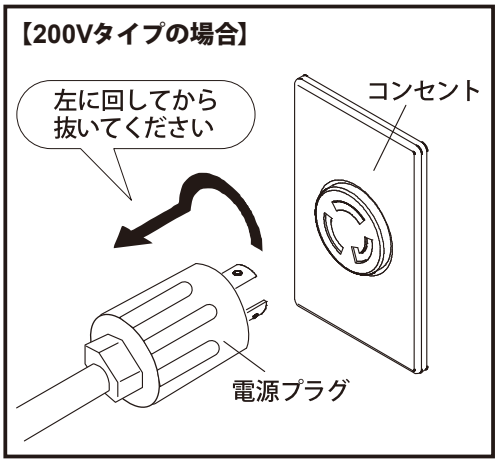
⚠注意	
⃠	**水道水以外は使用しないでください。** 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
❗	**満水にしてから通電してください。** 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、漏水や事故の原因となります。

1. 温水器に給水する

①運転スイッチがOFF になっていることを確認してください。

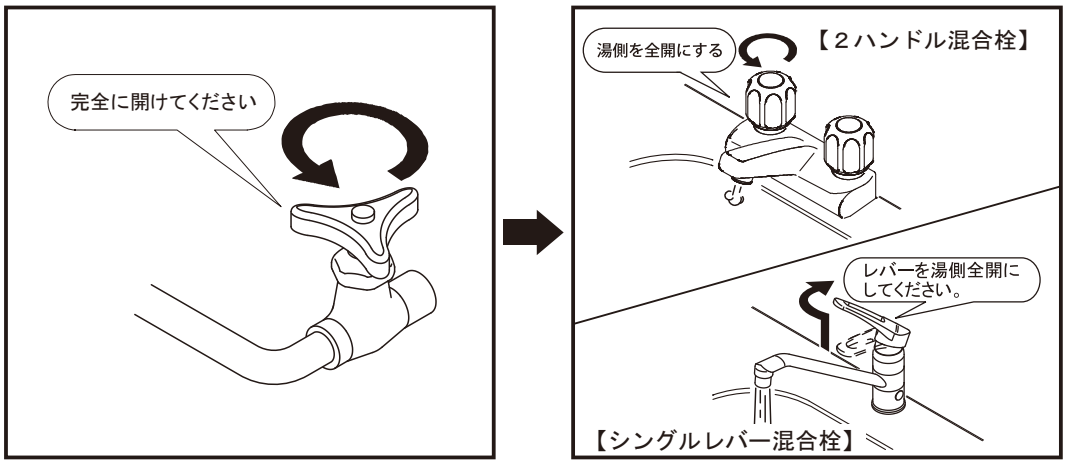


②電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。

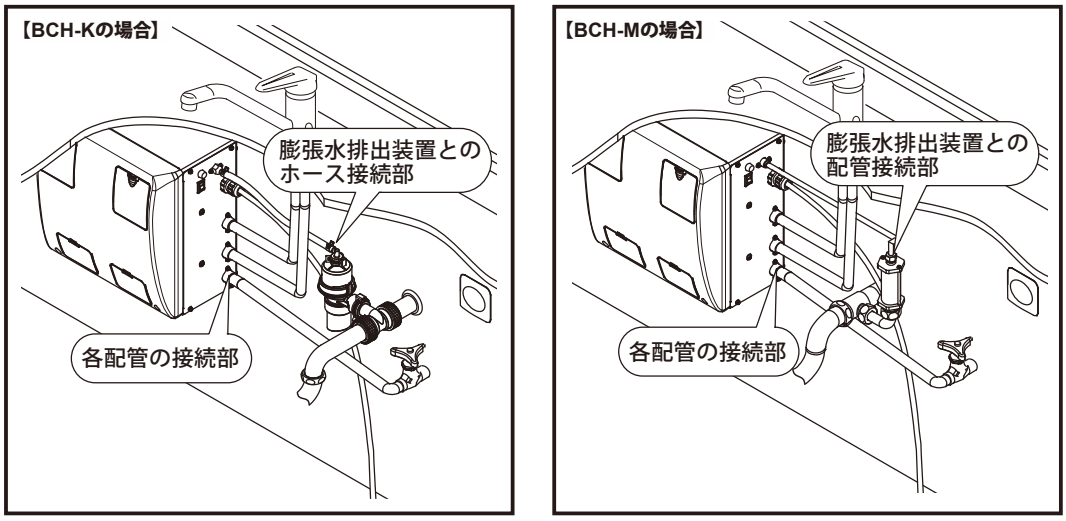


③止水栓を全開にしてから混合水栓の湯側を全開にし、水の量が安定するまで流し続けます。
（温水器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。）

水の量が安定したら配管の汚れをタンク内から排出するため、そのまましばらく流し続けてください。



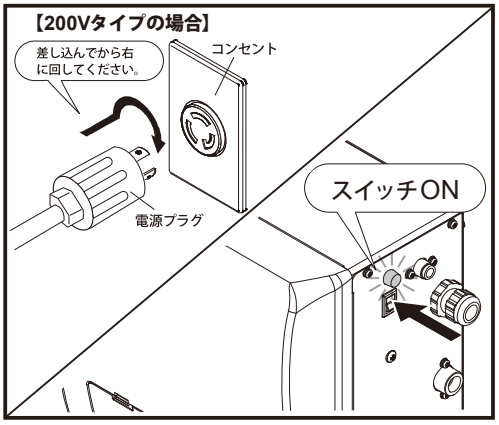
④混合水栓を閉め、温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



2. 試運転を行う

①電源プラグをコンセントに差し込み、温水器右側面にある運転スイッチをONにしてください。
（通電ランプが点灯します。）

沸かし上げが終了すると、通電ランプが消灯します。



3. 逃し弁の動作確認

⚠警告

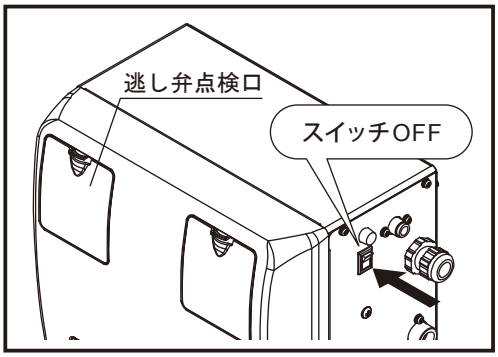
逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

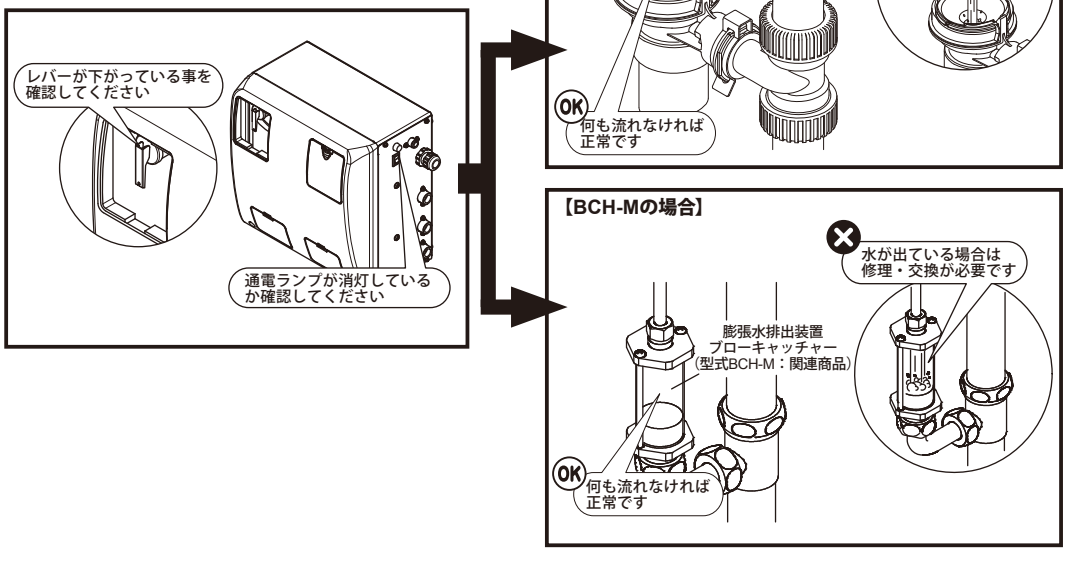
定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。
万一動作不良を起こした場合、漏水や事故の原因となります。

逃し弁が作動しなくなるとタンクの破損や事故の原因となります。定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。

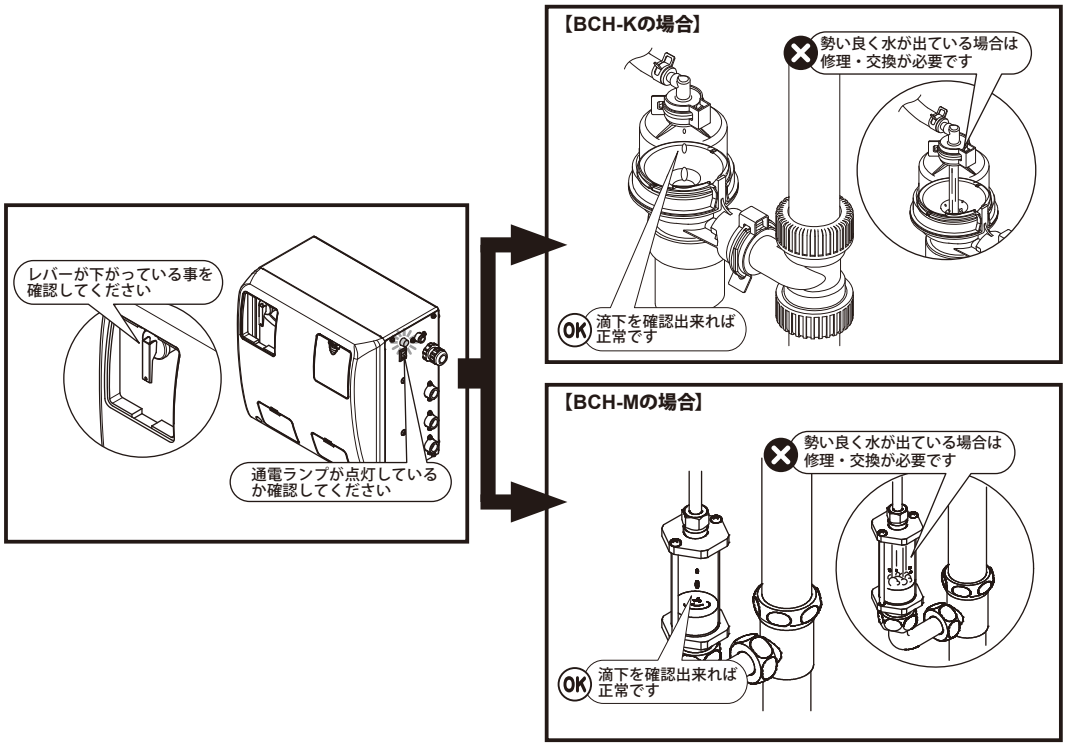
①運転スイッチをOFF にし、逃し弁点検口の蓋を取り外してください。



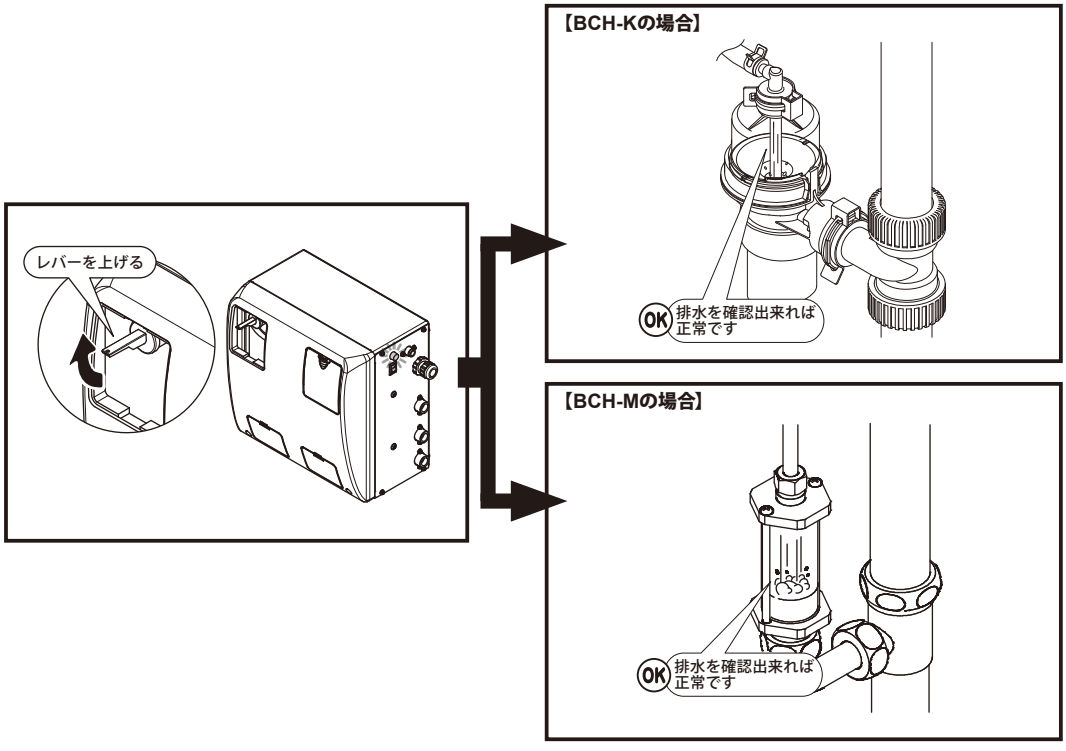
②通電ランプが消灯していること、逃し弁テストレバーが下がっていることを確認してください。
何も流れなければ正常です。



③**運転スイッチをONにしてください**。通電ランプが点灯していること、逃し弁テストレバーが下がっていることを確認してください。滴下を確認出来れば正常です。
※滴下し始めるまで多少時間がかかります。



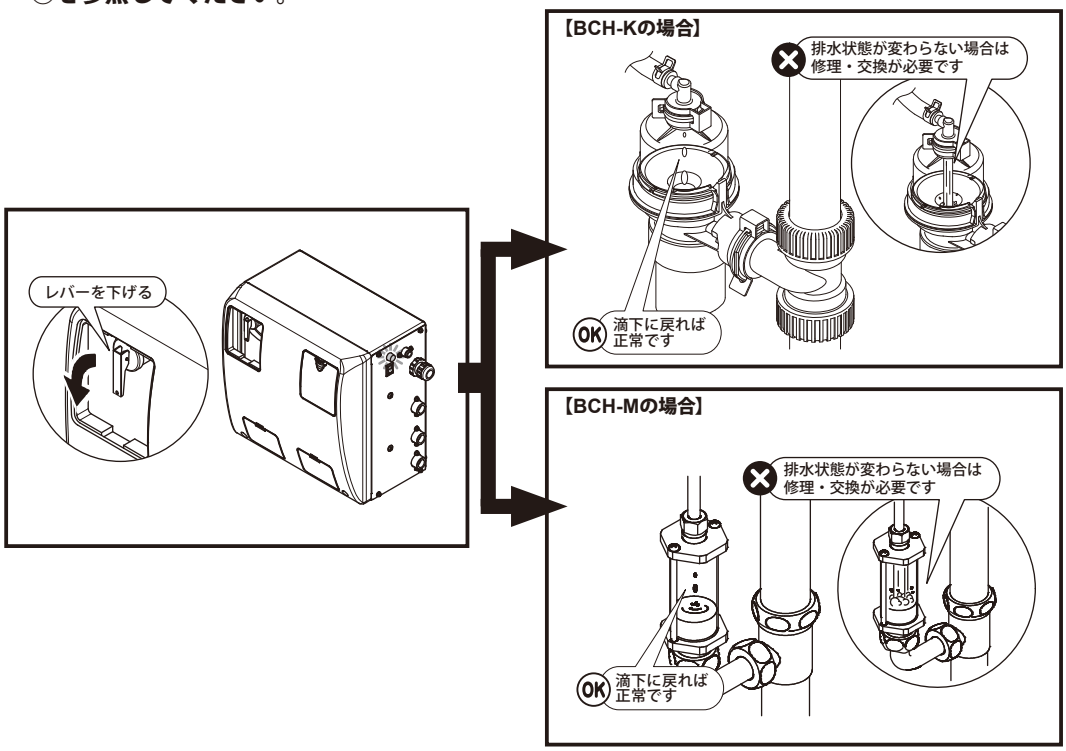
④逃し弁テストレバーを上げ、排水を確認してください。正常に排水しない場合は故障ですので、弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。



試運転を行う

⑤排水が確認できたら必ず逃し弁テストレバーを下げて水が止まることを確認してください。
逃し弁点検口の蓋を取り付けてください。**しばらくして滴下に戻れば正常です。**
（レバーを上げたままの場合、逃がし弁から水が排出され続けて設定温度に沸かし上げることが出来ません）

※スイッチONの状態でも沸かし上げが終了すると通電ランプは消灯します。消灯している場合は、②を参照してください。



ワンポイント P 逃し弁の内部にゴミが付着すると水が流れ続ける場合があります。そのような時は逃し弁レバーを立て、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください。

5. 施工後の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
漏　水	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
電　圧	定格電圧± 10% 以内ですか？	☐
ヒーター絶縁抵抗	1MΩ以上ありますか？	☐
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？	☐
逃し弁	吹き出し続けていませんか？	☐
給　湯	給湯栓を開くとお湯が出ますか？	☐

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

⚠警告	
	設置時およびリセット操作時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火の原因となります。
	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	前面カバーおよび蓋は ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。
	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、漏水や事故の原因となります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

1.使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

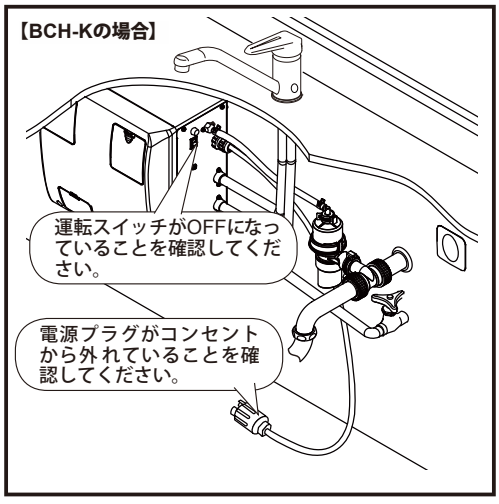
項　目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	□
	本体の上には物などを載せていませんか？	□
	逃し弁から吹き出していませんか？	□

2.運転する

⚠注意

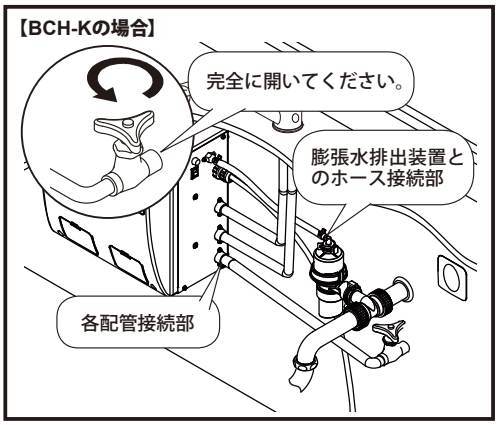
⃠	**温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。** 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
⃠	**水道水以外は使用しないでください。** 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
⃠	**水道水に添加物を混ぜないでください。** 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
❗	**満水にしてから通電してください。** 故障の原因となります。
❗	**規定の給水圧力にてご使用ください。** 誤動作、故障の原因となります。

①電源プラグがコンセントから外れていること、運転スイッチがOFFになっていることを確認します。



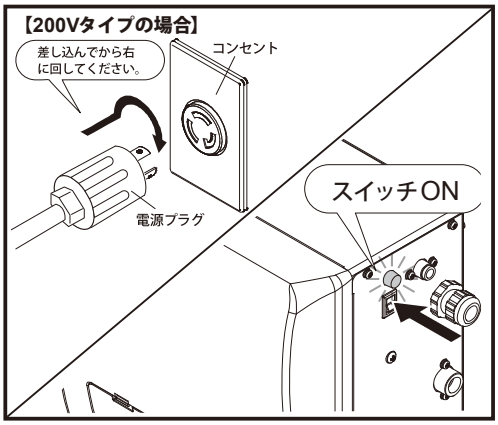
使用方法

②止水栓を開いて、温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。

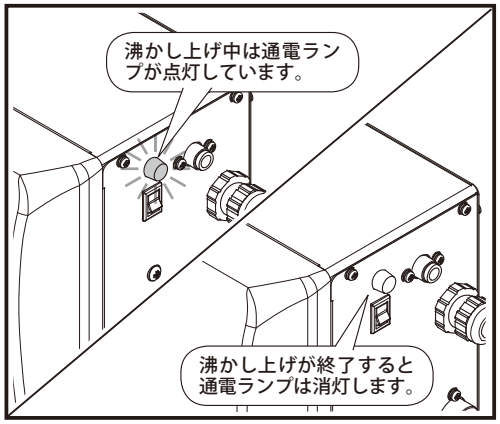


③電源プラグをコンセントに差し込み、温水器右側面にある運転スイッチをONにして運転を開始してください。(通電ランプが点灯します。)

タイマー付のES-3WTをお使いの場合は、運転スイッチをONにすると工場設定の自動運転【おすすめプログラム】(下記「タイマー運転について」参照)で運転を始めます。



④沸かし上げが終了すると、それまで点灯していた通電ランプが消灯します。



タイマー運転について(ES-3WTのみ)

ES-3WTは 、組み込みのデジタルタイマーに汎用的な運転設定「おすすめプログラム」を工場出荷時にインプット済みです。運転開始時は、この「おすすめプログラム」で設定されたスケジュールに沿って運転を開始します。(機能と操作方法については、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。)

おすすめプログラム運転設定	
運転曜日	月～土曜日
運転時間	6:30 ～ 18:30

3. 出湯する

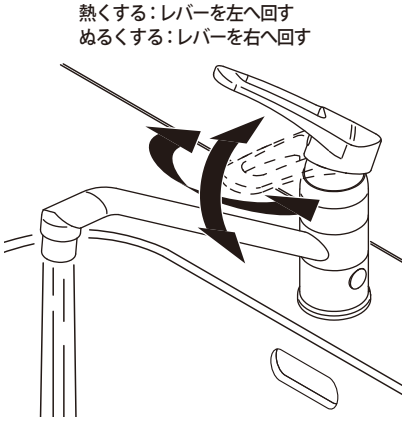
⚠警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。

水を先に出してからお湯を出して、湯温を調節しながらお使いください。

【2ハンドル式でご使用の場合】

【シングルレバー式でご使用の場合】



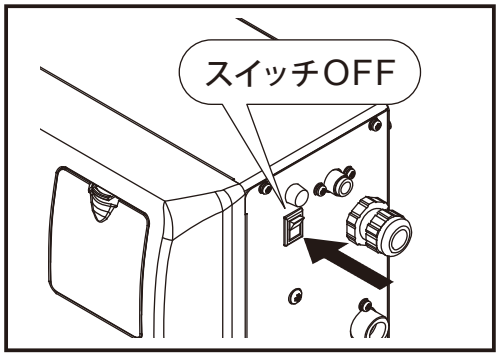
※混合水栓の操作方法は、お取付けの混合水栓取扱説明書をご参照ください。

4. 出水する

夏場などお湯を必要としない場合は、運転スイッチをOFFにしてください。

スイッチをOFFにした直後は、タンク内にお湯が残っていますのでお湯が出ますが時間がたつと水に変わります。

再びお湯を使用したい場合は、運転スイッチをONにしてください。スイッチをONにした直後はお湯が出ません。瞬間式ではありませんので沸き上がるまでお待ちください。沸き上がり時間は、P.6『共通仕様』を参照ください。



長期間使用しないときは（排水の方法）

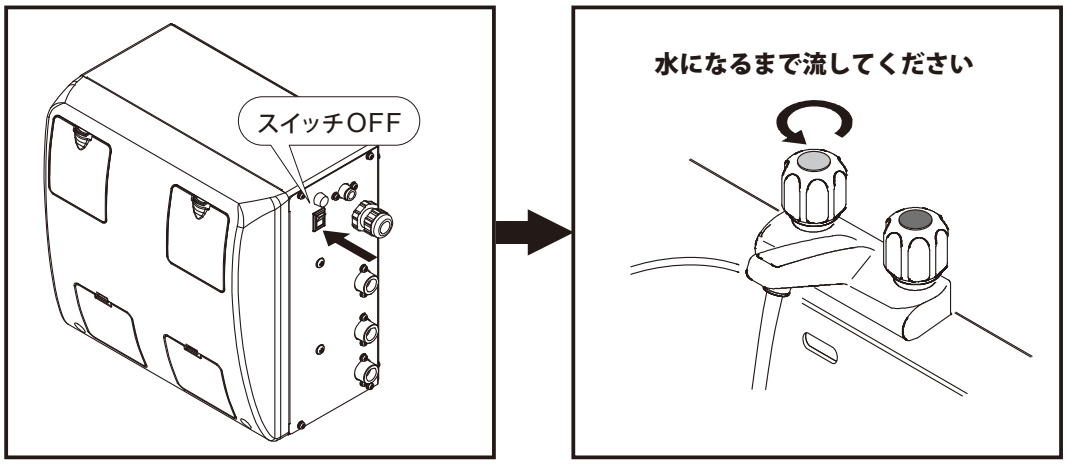
⚠警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	前面カバーおよび蓋は ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

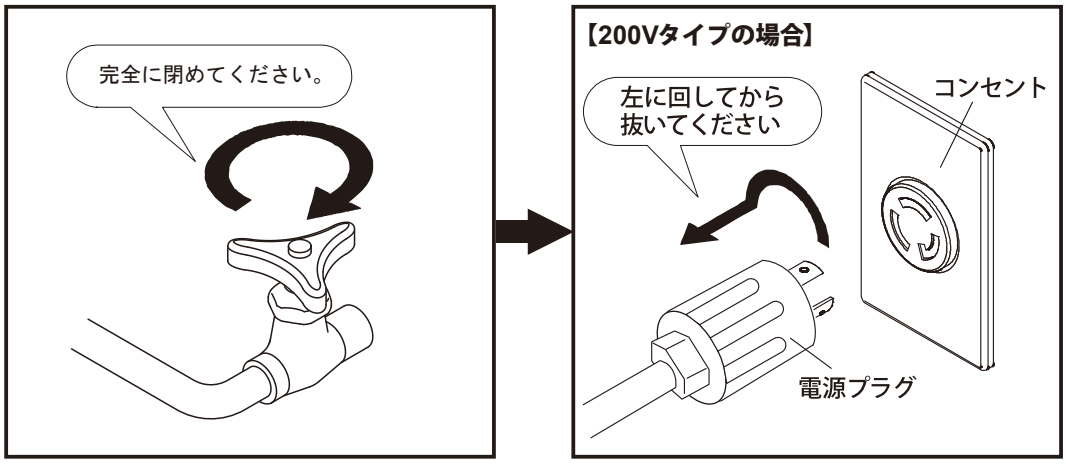
長期間、温水器および水栓をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

排水の準備

①運転スイッチをOFFにして、タンク内のお湯が完全に水になるまで出し切ります。

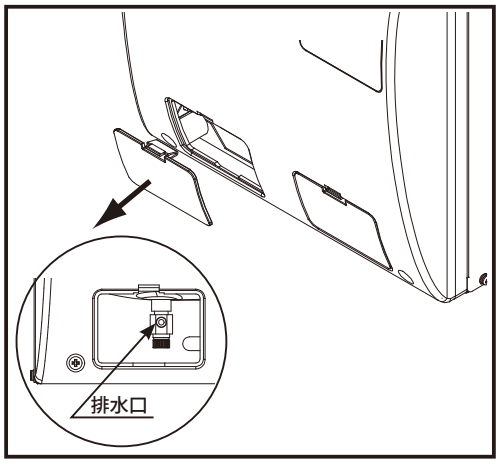


②止水栓を完全に閉め、電源プラグをコンセントから抜きます。



排水を行う

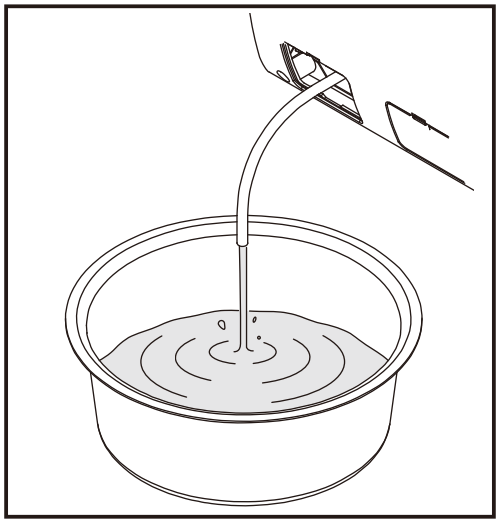
①左下の蓋を外し、排水口にホース（お客様手配品：適合ホース内径 7mm）を奥までしっかりと差し込みます。



②排水を受ける容器を置き、下部にあるつまみを回して排水を行います。
※排水の際、ホース挿入口から漏水がないか確認してください。また、容器から水があふれないようご注意ください。

③排水が終了したら、排水栓のつまみを回して排水栓を閉めてください。

※上記の方法で水が抜けにくい場合は、弊社フロント課までお問い合わせください。



お願い

長期間、温水器および水栓を使用しない場合は電源プラグをコンセントから外しておいてください。

長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。
凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

タンクが空のときには運転スイッチを ON にしないでください。
故障の原因となります。

お手入れの方法

⚠警告	
	設置時およびリセット操作時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、漏水や事故の原因となります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
管理技術者の方のみ **電圧の測定**	定格電圧の± 10％の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はヒーター断線の原因になります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回／月
管理技術者の方のみ **電流値の測定**	定格電流の± 10％の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者の方のみ **ヒーター絶縁抵抗測定**	絶縁抵抗計（500Vメガー）にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。 ※**破損するので操作回路には絶縁抵抗測定をしないでください。**	
重要 **逃し弁の動作点検**	逃し管から常時水が出ていないか確認してください。（P.28『逃し弁の動作確認』参照）	
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
タンク内部の清掃	給水栓および給湯栓を全開にしてタンク内の水を強制的に入れ替えてください。	1回／年

注）長期間ご使用にならない場合は凍結によるタンクの破損や水質変化防止のため、P.25『長期間使用しないときは（排水の方法）』をご参照の上、タンク内の湯を排水してください。

逃し弁の動作確認

⚠警告

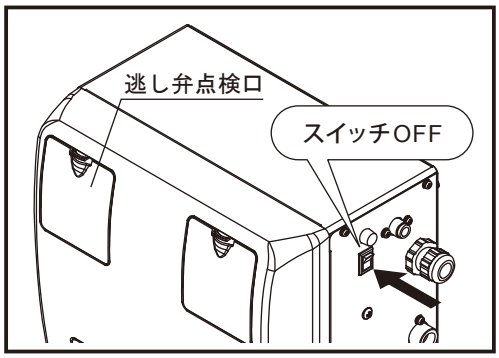
逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

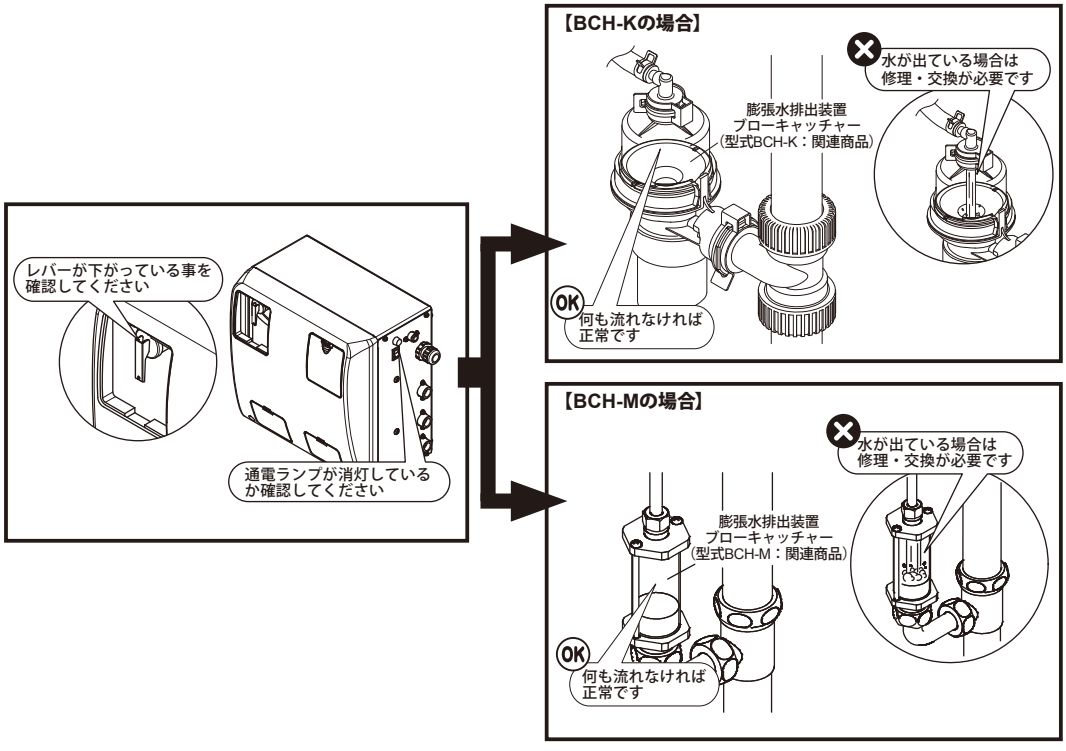
定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。
万一動作不良を起こした場合、漏水や事故の原因となります。

逃し弁が作動しなくなるとタンクの破損や事故の原因となります。定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。

①運転スイッチをOFF にし、逃し弁点検口の蓋を取り外してください。

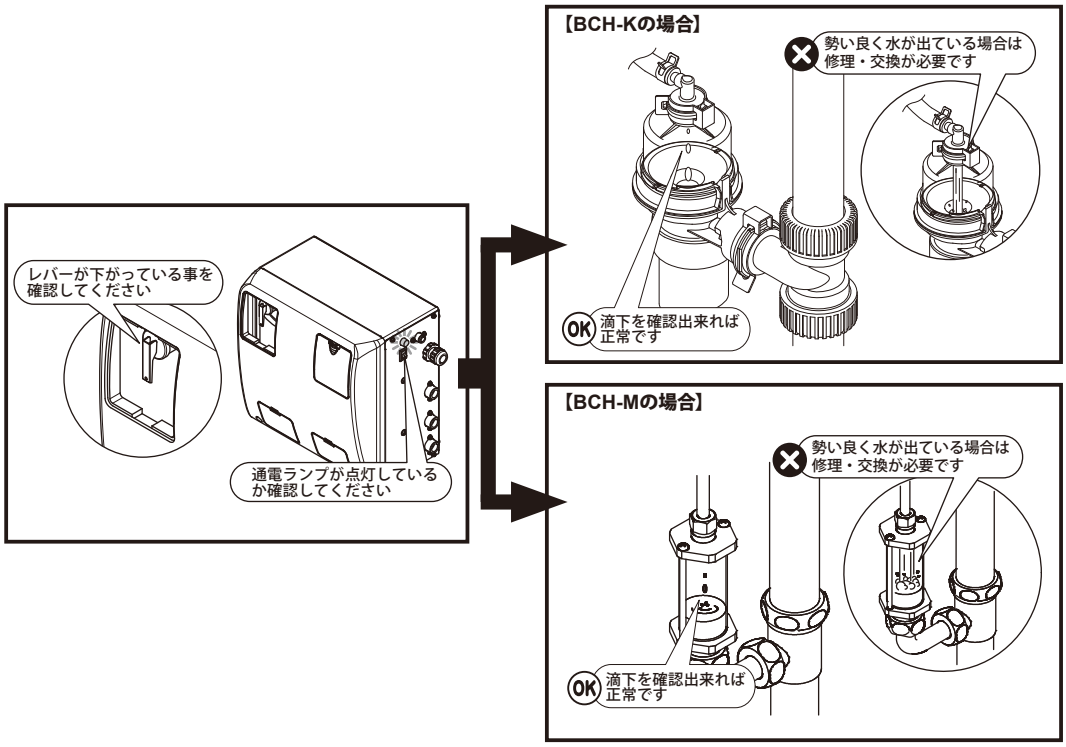


②通電ランプが消灯していること、逃し弁テストレバーが下がっていることを確認してください。何も流れなければ正常です。

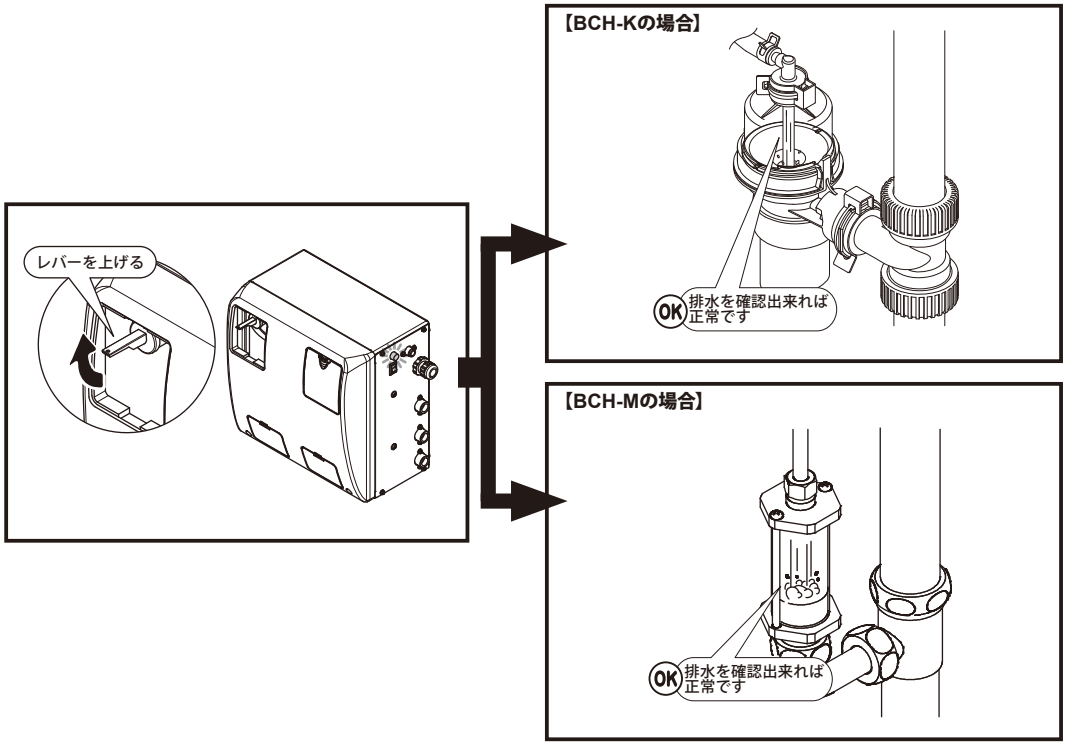


お手入れの方法

③**運転スイッチをONにしてください**。通電ランプが点灯していること、逃し弁テストレバーが下がっていることを確認してください。滴下を確認出来れば正常です。
※滴下し始めるまで多少時間がかかります。

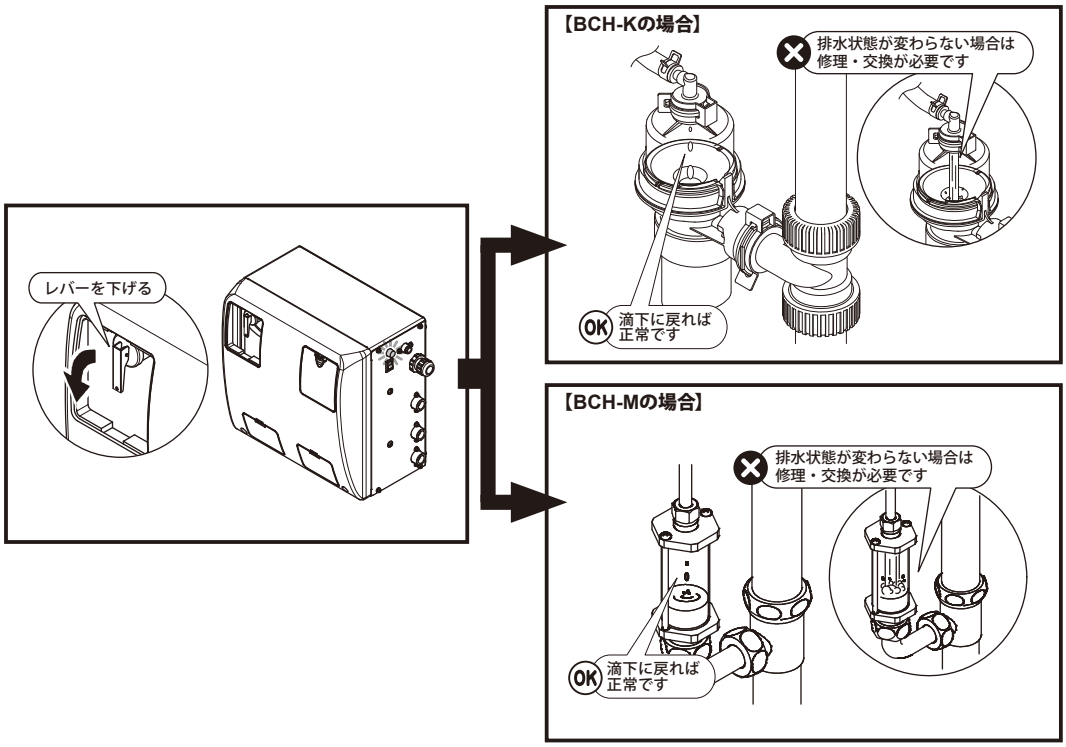


④逃し弁テストレバーを上げ、排水を確認してください。正常に排水しない場合は故障ですので、弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。



⑤排水が確認できたら必ず逃し弁テストレバーを下げて水が止まることを確認してください。
逃し弁点検口の蓋を取り付けてください。**しばらくして滴下に戻れば正常です。**
（レバーを上げたままの場合、逃がし弁から水が排出され続けて設定温度に沸かし上げることが出来ません。）

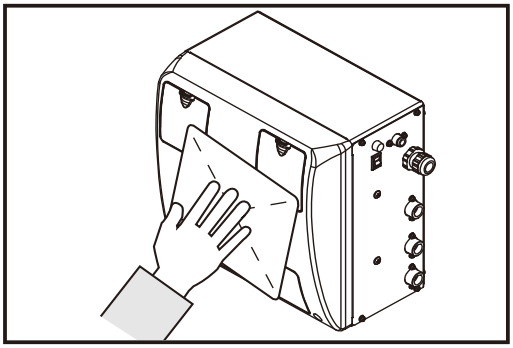
※スイッチONの状態でも沸かし上げが終了すると通電ランプは消灯します。消灯している場合は、②を参照してください。



ワンポイント
逃し弁の内部にゴミが付着すると水が流れ続ける場合があります。そのような時は逃し弁レバーを立て、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください。

温水器のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

温水器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。
ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、故障状況シートをFAXいただくか、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

タイマーの操作方法は、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」(右図)をご参照ください。

状　況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側のブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	タイマーの設定または運転スイッチがOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。タイマーは設定を変えてみて、通電すればセットし直してください。設定方法は付属のデジタルタイマー取扱説明書をご参照ください。
	過昇温防止装置が作動していませんか？	本器には「空焚き検出」および「過昇温検出」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。復帰するには原因を取り除いた上、管理技術者の方にご依頼ください。(P.35『リセットの方法』参照)
	電圧が誤っていませんか？	100 Vの温水器を200 Vで使用するとヒーターが断線します。200 Vの温水器を100 Vで使用することはできません。
	ヒーターの故障ではありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
湯温が低いまたは沸き上がり時間が長すぎる	湯を使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	逃し弁は正常ですか？湯が逃し管から出続けてませんか？	通電時、ポタポタ出るのは正常ですが常時吹き出しているのは故障です。ゴミがかんでいたり減圧弁の故障の可能性もあります。P.28『逃し弁の動作確認』に沿って動作をご確認ください。正常に動作していない場合は裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。
非常に熱い湯が出る	温水器の混合バルブが故障していませんか？	ES-3Wシリーズは80℃に沸かし上げたお湯を内蔵の混合バルブで水と混合して約40℃で出湯します。その混合バルブが故障している可能性がありますので、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足しているのではありませんか？	止水栓が開いていない場合は開けてください。減圧弁やストレーナーに詰まりがある場合は管理技術者の方にご依頼し、取り除いてください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。

状　況	ご確認ください	対処方法
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？ または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。水栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	ただちに使用を中止して止水栓を閉め電源プラグを抜いた後、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部を締め直してください。 膨張水の処理配管接続部も点検してください。
給水時に温水器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか 、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう 、Rを大きくするなど曲げ方を工夫してください。

ストレーナーの清掃

管理技術者の方のみ

⚠警告

設置時およびリセット操作時以外は前面カバーを開けないでください。
感電、やけどのおそれがあります。

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

前面カバーおよび蓋は ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。
破損の原因となります。

清掃前の準備

① P.25『長期間使用しないときは（排水の方法）』をご参照の上、排水を行ってください。

②以下のことを確認してください。

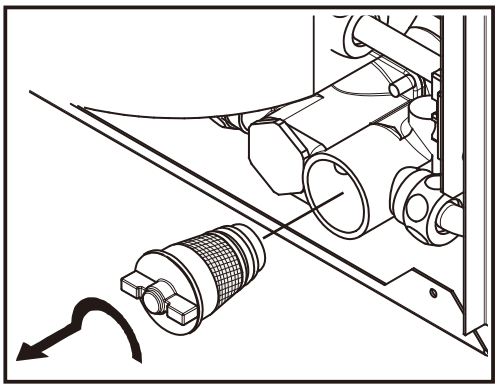
- **電源スイッチがOFFになっている。**
- **電源プラグがコンセントから外れている。**
- **止水栓が閉まっている。**

清掃を行う

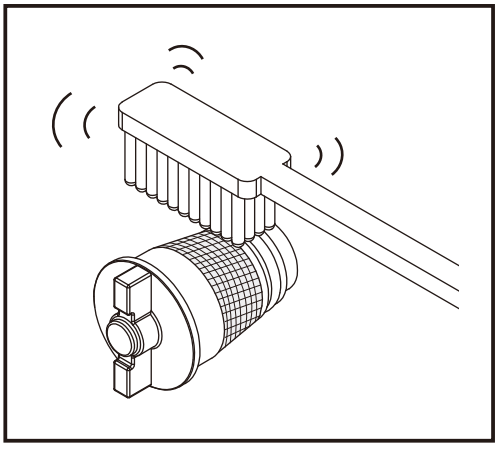
①前面カバーを外します。

②減圧弁からストレーナーを反時計回りに回して取り外します。

注：ネジを外した時に少量の水が出ますので水を受けるものを用意してください。

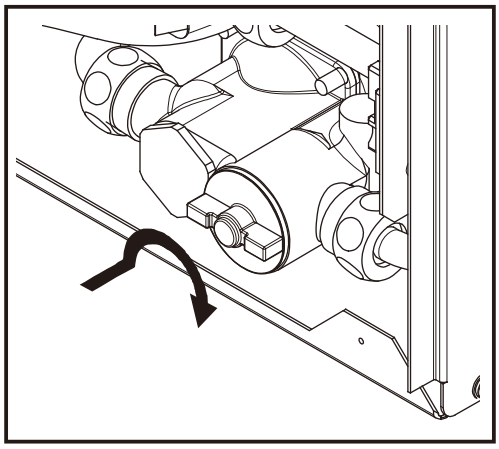


③取り外したストレーナーのフィルタ部分に詰まったゴミをナイロンブラシなどで取り除きます。



④ストレーナーを取り外しと逆の要領で取り付けた後、給水を行い、漏水がないか確認してください。漏水があった場合は再度取り付け直してください。
給水方法は、P.15『温水器に給水する』を参照。

⑤取り外した前面カバーを取り付けて終了です。



リセットの方法

管理技術者の方のみ

⚠警告

	設置時およびリセット操作時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

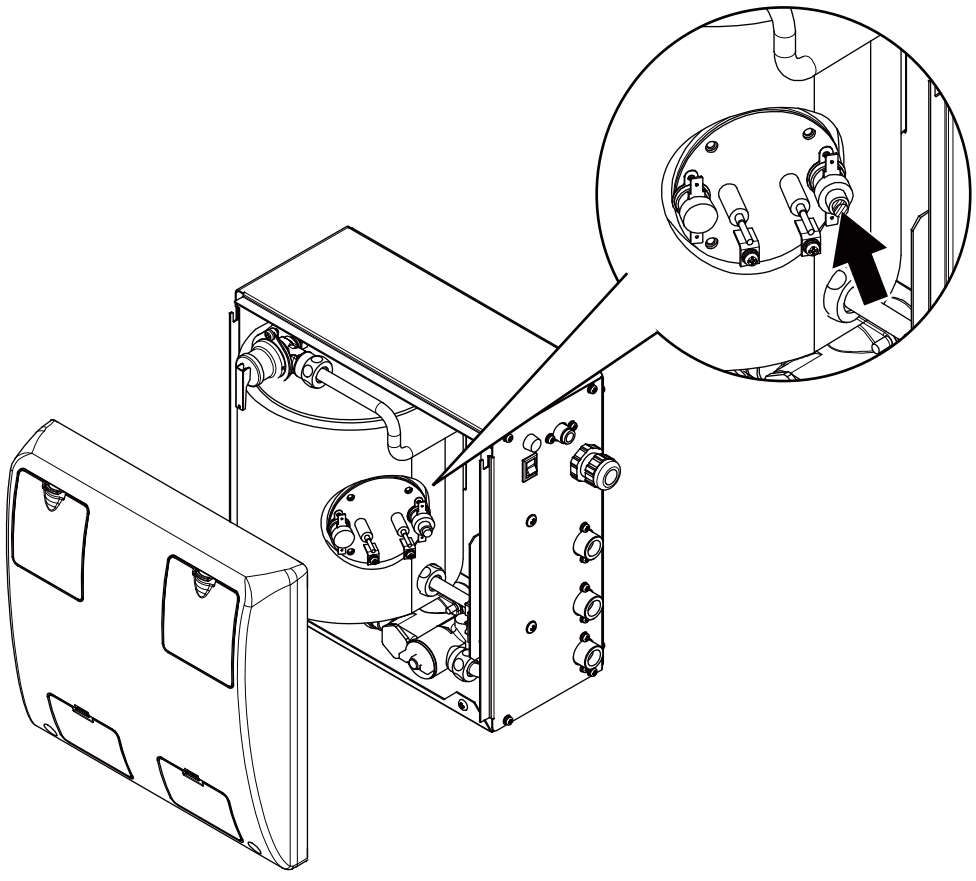
⚠注意

	前面カバーおよび蓋は ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。

※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ES-3Wには「空焚き検出」および「過昇温検出」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。

何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、電源プラグをコンセントから引き抜いた後、原因を取り除いた上でネジ止めされている本器前面カバーをゆっくり外し、十分に温度が下がってから下図矢印部分の空焚、過昇温リセットボタンを押してください。



アフターサービス

消耗品の定期交換について

下記に記載の部品は定期的な交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼は弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
逃し弁	設置、交換日より 2～5年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 (※水道水中のミネラル分が固着したもの。)
減圧弁		
ヒーター		
自動混合弁		

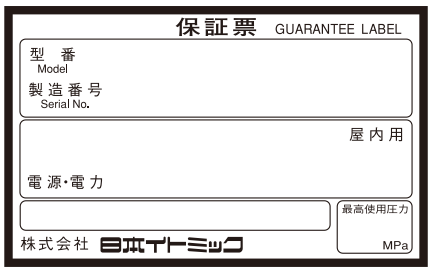
※上記以外でも使用状況によってパッキン類や電子部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.37の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)



(株)日本イトミック フロント課 FAX 03-3621-2163
TEL 03-3621-2161
※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

アフターサービス

故障状況シート			
貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型番	ES- 3W		
電源、電力		製造番号	
設置場所		保証期限	

状　　態

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前に最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点は最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点は最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に取扱説明書の「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービス」の項をご覧いただくか、最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒130-0002　東京都墨田区業平5-11-3（イトミックビル）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。　その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様はフロント課、近畿地区のお客様は修理受付センター、その他の地域のお客様は最寄りの地区販売会社まで直接お電話ください。

フロント課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161（代）**
FAX：03（3621）2163
修理受付センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（228）0824**

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

リニューアル課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（5860）4992（代）**
FAX：03（3621）2163

《営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:011（615）6681（代）**
（株）北海道イトミック　**FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒1条5-1-10（ラポール24軒2号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北・新潟地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:022（773）6161（代）**
（株）東北イトミック　**FAX：022（773）6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:03（3621）2121（代）**
（株）日本イトミック　**FAX：03（3621）2130**
〒130-0002　東京都墨田区業平5-11-3（イトミックビル）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:052（222）2561（代）**
（株）日本イトミック　中部営業所　**FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内1-4-12（アレックスビル3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:06（6226）0800（代）**
（株）日本イトミック　関西営業所　**FAX：06（6226）0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町3-4-7（KCビル9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:082（240）1361（代）**
（株）日本イトミック　中国営業所　**FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町1-7-12（徳永ビル）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:092（481）3911（代）**
（株）九州イトミック　**FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

ESW0D10001-15

VEGETABLE OIL INK

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

'13.01-14-1-0.5 ①